

令和元年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
7	岐阜総合学園高等学校

学校教育目標	自ら学び続ける意欲と態度を養い、知・徳・体の調和のとれた心豊かな人間を育成する。 (1) 主体性を重んじ個性を伸ばす総合学科の特色を生かし、自らの可能性を引き出す力を育てる。 (2) 自己を正しく理解し、ライフプランを確立させ、自己実現を図る力を育てる。 (3) 実践的活動を通して、自主性・創造性を養い、健康な心身を育てる。	
<教育指導の重点> 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	達成度の判断・判定基準あるいは評価指標
1 生涯にわたって自ら学び続けられる力を身に付ける。	①「充実した授業」「規律ある学校生活」を指導の基本におき、毎日の授業や部活動指導を通して、調和のとれた生徒の育成を図る。 ②相互参観授業、生徒による授業評価、授業研究会や教育力向上委員会の活用等で、授業改善及び教科指導力の向上を図る。 ③授業・部活動・生徒会活動等での言語活動を通して、コミュニケーション能力を育成する。 ④生徒の教育相談にきめ細やかに対応し、粘り強く支援する。	①授業態度や資格取得・コンテスト、部活動の参加状況とその成果。 ②授業アンケートの評価。目指す授業像が教科内で共有されているかの確認。 ③授業等の諸活動で自分考えや意見を立場の異なる相手にうまく伝えることができる。 ④生徒のわずかな変化に気づき早期の対応ができる。 重点数値目標 家庭学習時間 平日平均1時間以上
2 21世紀型能力(生きる力)を養い、社会や世界と良い関係を結びながら人生設計を実現できる人材を育てる。	①活用型基礎学習 主体性とリテラシーの基礎を身につけるため、必要な知識や収集した情報を使って、活用する術について学習する。主に「産業社会と人間」・教科授業などで実施する。 ②探究型応用学習 リテラシーの育成のため、課題発見する力、他者との共同研究をとおして考え抜く力、課題対応能力を身につけさせる。主に「産業社会と人間」・教科授業・課題研究・系列別総合学習で実施する。 ③シミュレーション型体験学習 コンピテンシーの育成のため、グループ活動・作業から、自己の役割を認識し主体的な社会参画と多様な人との協働、集団の規律について、その必要性を体得するために繰り返し経験する。主に「産業社会と人間」・系列専門教科の実習授業・系列別総合学習で実施する。 ④実践型総合学習 リテラシーとコンピテンシーを実践の場で試す学習である。主に「産業社会と人間」のインターンシップ実習と「ライフプラン作成」、系列専門教科の実習授業・系列による職場体験やボランティア活動で実施する。	①1年次ディスカッションや体験学習を中心とした「産業社会と人間」の授業におけるパフォーマンス・ポートフォリオ評価。 ②学びの基礎診断を利用したPDCAサイクルについて、学力推移及び学習習慣をリサーチし評価。 ③総合学習での探究活動や完成物の評価。 ④進路選択にキャリア意識がみられるか評価。 重点数値目標 就職内定率100% 進学者の第一志望校合格率80%以上 高卒・進学後就職者離職率10%未満
3 「安全・安心な学校づくりと心の教育」を推進する。	①集会やホームルーム活動等のあらゆる機会に、遅刻や欠席数の削減・交通事故防止・危機管理の自覚を促し、意識の向上を図る。生活委員会・交通安全委員会を充実させ、生徒からの啓発によりマナーの向上を図る。 ②人間性および社会性の育成に努める。 ③全校一斉登校点検や校門付近において生活指導・交通安全指導を実施する。 ④生徒一人一人をより深く理解するため職員間で情報共有をする。	①交通事故件数・交通マナー違反の増減と発生状況。 ②盗難・いじめ・いたずら等の問題行動の発生状況。公共の場での礼儀・マナーの状況。 ③身だしなみの実態。登校点検の検査結果と再点検の状況。 ④職員朝会および職員会議において、生徒の情報共有をする。 【重点数値目標】 遅刻者数延べ700名以下。 欠席者数延べ2000名以下。交通事故件数20件以下
4 「全校一斉朝の10分間読書」を毎日実施する。	①毎朝10分間の読書時間を確保し、全校一斉に取り組む。 ②朝読書に関する通信(朝読書への取組の様子、生徒の感想、推薦図書を紹介等)を発行する。 ③教員が率先垂範して朝読書に取り組む。	①本を用意し読書に集中することができる。 ②波及効果(心を落ち着かせて、授業に集中できるようになった。読書離れの生徒に本を読みきっかけを与えた。など)